

令和7年度

練馬区立光が丘第三中学校

光が丘三中だより 第5号

「知の輝き」「心の輝き」「身体の輝き」

URL <https://www.nerima-tky.ed.jp/hikarigaoka3-j/>



令和7年9月1日

飛躍の2学期に

校長 榮田 良晃

44日間という長い休みが終わりました。いよいよ2学期の学校生活が始まります。中学校生活の中で最も長く、今年は81日あります。

1学期の終業式で、目標をもち「何かをやりとげた夏にしてほしい」という話をしました。達成できた人もいれば、「道なかば」という人もいるかもしれません。

大切なのは、目標をもつことだけでなく、「あきらめない」ことです。定めた目標に対し、生徒の皆さん一人一人が、努力を続けてくれることを願っています。

そして、もうひとつ大切なのは「自ら考えて行動する」ことです。

皆さんは古代エジプトの建造物ピラミッドをご存知でしょう。ピラミッドの中でも一番大きいクフ王のそれは、建造に20年もの年月を要し、230万個もの石が使われ、20万人もの人々が工事に携わったと言われています。砂漠と灼熱の太陽という過酷な環境の中、約2トンもある巨石を切り出し、運び、積み上げる労力は想像を絶します。

なぜ、人々はこんな偉業を達成することができたのでしょうか。

当時の王（ファラオ）の絶大な権力によって人々が奴隷のように働かされて成しえた偉業なののでしょうか。近年の学説によると、人々は無理やりではなく、「王とピラミッドの栄光を後世に伝える」という目標をもち、情熱や使命感、誇りをもって働いたのではないかと考えられています。

やらされていたのではなく、自らの意志や考えで行動していたのです。このようなときこそ、人はより大きな力を出すことができるのだと思います。

最後に、自分自身を信じることです。

学校という舞台は、皆さん一人一人が主役です。脇役や必要の無い役柄はひとつもありません。考え方の違いがあるのは当たり前です。人との違い、多様性を受け入れる心を養ってください。

2学期の学校生活が「砂上の楼閣」ならぬよう、自分に自信をもって学校生活を送ってください。皆さんが大きく飛躍してくれることを期待しています。

《7月12日（土）学校公開》　　＜道徳地区公開講座＞

今年度の道徳地区公開講座、テーマは「命」です。本当にたくさんの保護者の皆様にご来校いただき、それぞれの学年での道徳の授業をご覧いただくことができました。

1年生 内容項目「生命の尊さ」資材名「ひまわり」

2年生 内容項目「生命の尊さ」資材名「命が生まれるそのときに」

3年生 内容項目「希望と勇気 克己と強い意志」

資材名「希望のカレンダー」

命の誕生や、防災時に命を守るためには、防災で亡くなった人との想いをつなぐひまわりなど、様々な角度から命の大切さについて考えることができた時間でした。

最後の意見交換会にご参加いただいた保護者の皆様、お忙しい中、長い時間お付き合いくださいまして、ありがとうございました。

＜防災体験＞

1年生 起震車への乗車体験（校庭）、避難所体験（体育館） 1校時

2年生 仮説トイレ（視聴覚室）、消火器体験（校庭） 2校時

3年生 発電機&投光器、バーナー点火体験（校庭） AB組1校時 CD組2校時

区民防災課や消防署の皆様のご協力により、多くの防災体験をすることができました。日中に災害が起こった場合、地域にいるのはお年寄りや中学生、小学生が多いです。中学生は頼れる存在になります。防災について、しっかり学んでください。



＜防災講和＞

この日は1校時から3校時まで、防災をテーマに学習を行ってきました。防災や命に関する道徳の授業、様々な防災体験、そして3時間目は、全校生徒を対象とした、語り部による震災講話です。

お話をしてくれたのは、「心のあかりを灯す会」の皆様です。

「心のあかりを灯す会」は区民防災課と一緒に、区民の防災活動の支援を行っている区民防災組織です。『震災に負けないで頑張ろう！灯そう心のあかり』を合い言葉に、防災支援を行っています。活動として、阪神・淡路大震災などの自然災害や、防災のことを子供たちに伝えることにより、日常の中でも「命の大切さ」や「人への思いやり」を学べる活動や、「自分の命は自分で守る。地球は地球で守る。」という考えを、子どものころからもってもらえるように、紙芝居・防災体操・防災人形劇・防災クイズを通して考えてもらえる活動などを行っています。

阪神・淡路大震災が起きたのは1995年1月17日、生徒の皆さんが生まれる前の出来事です。震災の現場のことだけでなく、避難所生活や、復興までの生活支援のことなど、本当に貴重なお話がたくさん聞けました。語り部の皆様、ありがとうございました。

《 English Camp を終えて 》 8月6日（水）～8月8日（金）

「イングリッシュキャンプ」1年生にとって、中学校で初めての宿泊行事です。その名が示すとおり、英語力の向上が目的のひとつであることは間違いありません。でも、それだけでなく、アクティビティ・フィールドワーク・プレゼンテーションなど様々な体験をすることができました。



8：15に校庭に集合完了、出発式を終えて学校を出発、中台で高速にのり、少し渋滞にもあいましたが、海ほたるでの休憩を経て、ほぼ予定どおりにベルデ岩井に到着することができました。ピロティで到着式を行い、昼食をとり部屋に入り、荷物の整理整頓をします。午後、よいよEC開校式です。華やかなオープニングセレモニーがありました。現地スタッフによる楽しいECの説明、外国人講師による華麗な挨拶、その途中にプリンシパルススピーチ（校長講話）が組み込まれており、生徒から「英語で」という（無茶な）リクエストがあり、冒頭だけ少し英語でスピーチをさせていただきました。ハードルが高かったですが、私もいい経験をさせていただきました。



2泊3日の中で、4回の英語プログラムが用意されています。外国人講師との異文化交流、ゲームやダンスパフォーマンス、すべての説明やコミュニケーションが英語です。分からない部分もあったと思いますが、様々な五感と想像力を働かせ補完し、積極的に理解しようとしていました。最終日に行うプレゼンテーションの原稿やフリップづくり、英語を学ぶだけでなく、他の国の文化を理解することができたと思います。自分たちもプレゼンテーションを完成させたという経験から、その大変さも理解しています。互いの発表を、誠意をもって一生懸命聞き、惜しみない拍手を送っていました。練習を重ねたダンスパフォーマンス、人前で踊ること自体、勇気のいることだと思います。確実に自分の殻を破り、積極的に前向きに行動する力が身についたと感じています。



豊かな自然環境の中での挑戦と解放により、多くの成功体験を通じて、英語を話す楽しさを感じ、英語を話すことに自信がもてたと思います。仲間との集団生活・協働学習を通じて、連帯感と達成感も感じるすることができました。

「参加しただけでイングリッシュキャンプは成功だ」現地スタッフの方がそう言っていました。

参加しただけでなく、多くの成果がありました。得たものは、自信・勇気・積極性・自主性・責任感・自己肯定感、そして何より、これからの生徒の皆さんの成長に対する期待と希望です。私はこのイングリッシュキャンプは大成功だったと思います。本当に実り多き3日間でした。





<生徒の活躍から>

【ハンドボール部】 南多摩ハンドボール交流戦 優勝 個人 優秀選手賞 3年D組 【陸上】 第71回全日本通信競技大会東京大会（都大会） 共通男子 400m 第6位 3年C組 男子 共通男子 砲丸投げ 出場 3年D組 男子	【ソフトテニス部】 令和7年度 練馬区中学校総合体育大会 団体 女子 優勝 個人 女子 第3位 3年C組 3年D組 （メダルが授与されました） 【禁煙ポスター】 （北海道禁煙週間実行委員会） 佳作 3年B組 女子
---	--

9月の主な予定

日	曜	主な予定	日	曜	主な予定
1	月	Ⅱ期時間割始 始業式 安全指導 ③休み明けテスト 選挙管理委員会	11	木	職場体験(2)
2	火	生徒会役員選挙公示開始	12	金	職場体験(2) 水泳指導終
3	水	修学旅行保護者説明会(3)	13	土	学校公開日 区一斉防災訓練（引き取り訓練）
4	木	職場体験事前訪問(2)	17	水	校区別協議会Ⅱ
5	金	専門委員会	18	木	選挙管理委員会 選挙リハーサル
8	月	全校朝礼 安全指導	19	金	生徒会役員選挙 選挙管理委員会
9	火	担任会(F)	22	月	学年朝礼
10	水	学校説明会	23	火	秋分の日 連合陸上

<2学期の生活目標>

生活習慣を正そう

<9月の生活目標>

生活習慣の向上